



輝く未来のさいたま市

埼玉大学教育学部附属小学校




6年3組《3班》

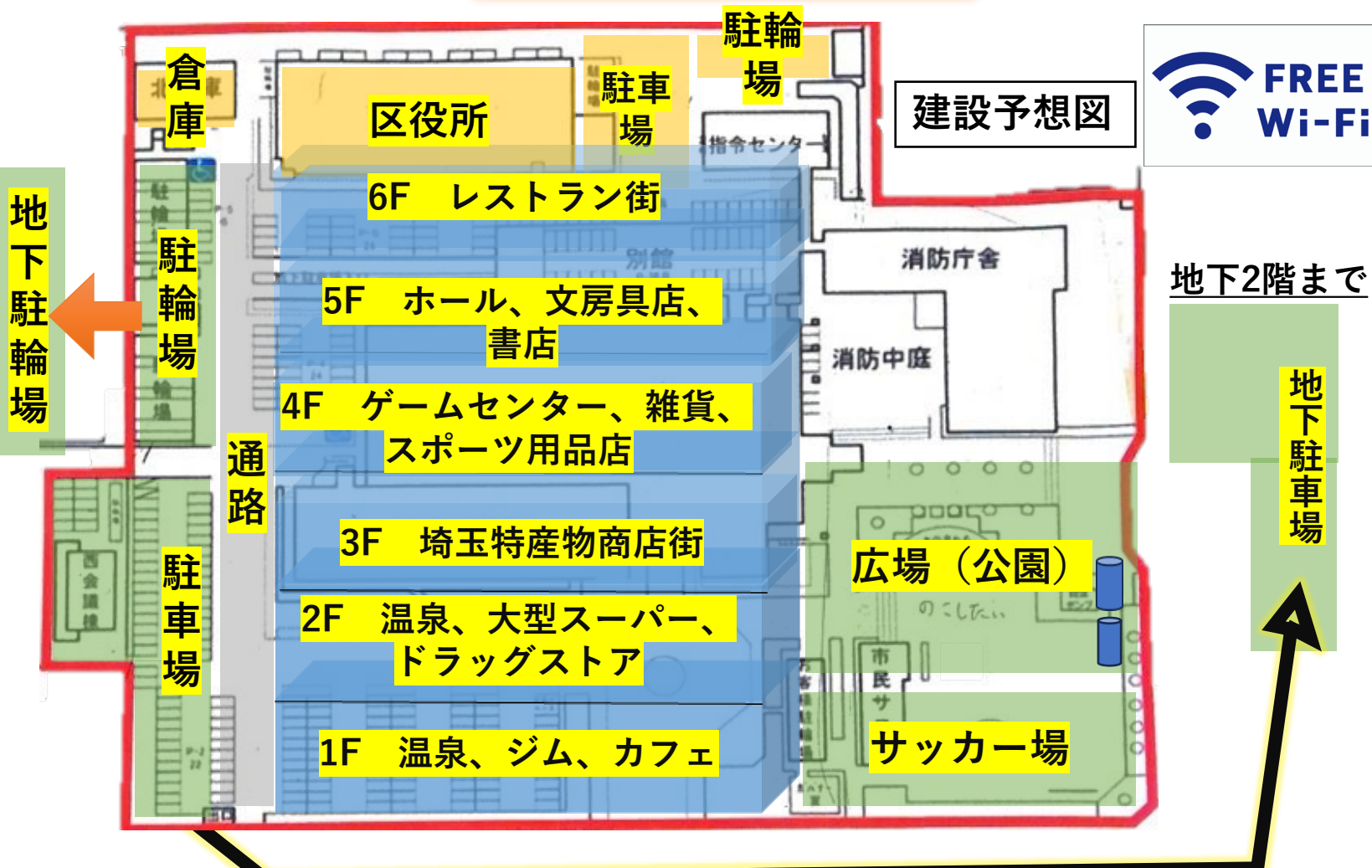
概要

誰もが 平等に使える 総合施設

健康維持！

上り下りするところ
にスロープを！

健康維持…
学習………
人のため…



1F 体を動かすものをたくさん入れて、健康維持に！

2F 体を動かすことをサポートするお店を入れて運動をしやすくする。大型スーパーを下に置いて体の不自由な人も使いやすく。

3F 埼玉のことを様々な人に知ってもらうために埼玉のもののみを入れて作る。フードコートも。

4F 学生向けのものも作り、どの世代からも愛される施設に！

5F ホールでプログラミングなどのデジタルの学習

6F 埼玉県には外国人が多いので、外国の料理店をたくさん入れる。

広場 ランニングコースを作り、健康維持につながるようにする。

サッカー場 ボールが使える公園がだんだん減ってきたから、子供がのびのびと遊べるようにするため。

①ショッピングモール1F~2Fについて

【1F】温泉、ジム、カフェ

- 健康のため、運動した後まで考えられている。
ここで1日暮らせるようなショッピングモール
健康のためのドラッグストア

【2F】温泉、大型スーパー、ドラッグストア

- 体調が悪くなったときにちょっとでもためになる。
- 温泉を広くして、ゆったりリラックスできる施設に。
- 大型スーパーを下の階において誰でも使いやすく。日本に居る外国人の人数は埼玉県が5位なので外国人向けの商品をたくさん売り、その人たちに懐かしんでもらう。



②ショッピングモール3F~4Fについて

【3F】 埼玉県物産展

【4F】 ゲームセンター、雑貨、スポーツ用品店

- 外国人でも楽しめるような雑貨を売る。公園などで楽しめる
ような道具を売る。
→(ゲームセンター)あらゆる世代の人に息抜きをしてもらうため。



③ショッピングモール5F~6Fについて



【5F】ホール、書店、文房具店

→将来は電子書籍がほとんどだと思うけれども、絶対紙の本を読みたい人はいると思う。

→ホールでプログラミング教室などのためになる教室を開いて勉強できるようにする。机、椅子も置く。



【6F】レストラン街

→ショッピングモールで1日過ごしても大丈夫。
バランスの良い様々なものが食べられる。

ほかの国の郷土料理が食べられる。全国38位
埼玉2位



④公園について

体力を増やすため。

→最近運動をしていない人が多い。なので、ランニング・ウォーキングコースを作成し、健康維持のために運動をしてもらう。

花を植えて季節がわかり楽しい公園にする。そして、花言葉なども書いて、興味を持ってもらえるようにする。

ストレスを解消させるため。

→このあたりに公園があまりない為、子供たちがあまりのびのびと遊べていない。

なので、子供がもっとのびのびと遊べるようにするために造る。
そして、ストレス解消できる。

《花》

バラ『愛情』

チューリップ『思いやり』

胡蝶蘭『幸福を呼ぶ』

ハーデンベルギア『出会えてよかった』

ペチュニア『心の安らぎ』

《木》

ケヤキ『ずっとそばに』

もみじ『大切な思い出』
『美しい変化』



⑤サッカー場について

浦和はサッカーの街だから。

→最近はボール禁止の公園が多い。なので、サッカーができる場所が限られている。

そんな子供たちのストレスなどを解消できる。

また、興味を持ってくれる可能性があるのも、そうなったときにまたサッカーをする人が増えていく。その好循環が生まれていき、もっとサッカーが好きな人が増えていく。

もっとサッカーで盛り上がるような街にするため。

→サッカー場を作れば、もっとサッカーが好きになると思ったから。そして、最近家にこもっている人が多いので、もっと外で遊んで健康的に過ごすため。

自然とサッカーをしている子供の親も自然とサッカーに興味をわいていくと思ったから。

⑥地下駐車場について

水槽

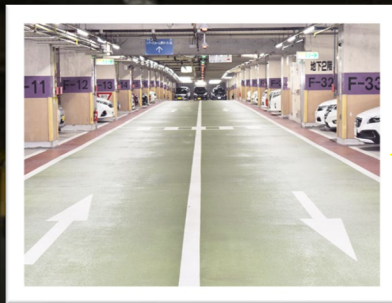
駐車場

- ・車いすなどの不自由な人のエリアを広く作る。
- ・地下のかべに大きくて広い水槽を埋めて、水族館と駐車場を合体させる。→駐車場にも楽しめるものを作る。

出入口

地下1F

地下2F



合体



駐車場にも工夫をして、駐輪場
に来ただけでワクワクする！



⑦埼玉県物産店について

埼玉県のことをしってもらうため

→もっと埼玉の知名度を上げていく。また、埼玉県のことを埼玉県民みんなが知っているとは限らないから、県内の人もこんなものもあったのだなあなどと思ってもらうため。

フードコートを作る

→作ることによって、うなぎなどをすぐに食べられるようになる。電子レンジを置くと冷凍食品も解凍して食べることができるようになるから便利。



⑧屋上について

太陽光パネルを設置する

→太陽光パネルを設置することで、始めは設置するためのコストはかかる。

けれど、今後何十年も使用すると考えれば、太陽光パネルで作った電力を施設に使用することができるから、大幅なコスト削減となる。すべての電力を賄えるわけではないけれど、作るとSDGsの7番、13番ができる

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



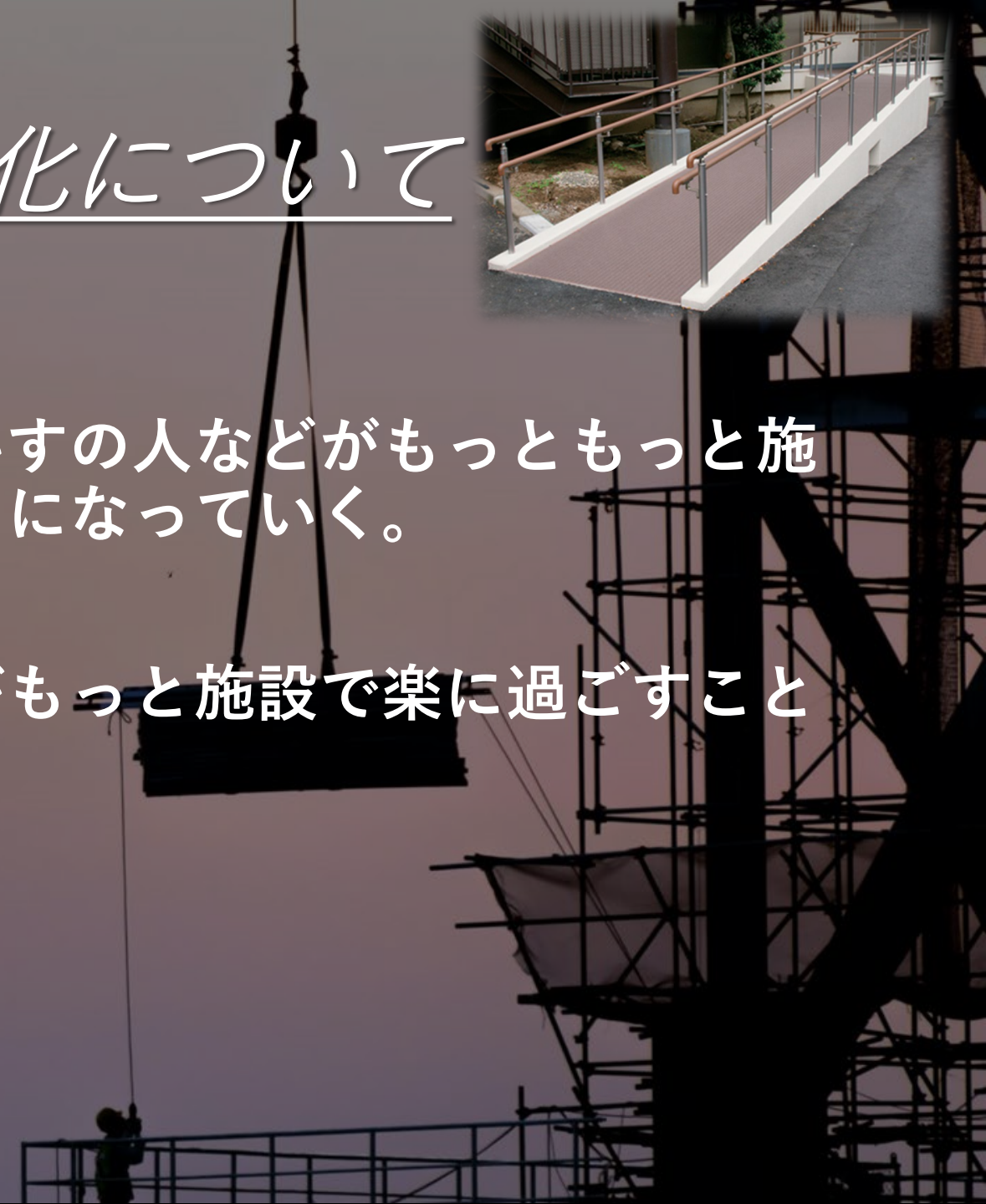
⑨施設のバリアフリー化について

スロープを付ける

→すると、足が不自由な人や、車いすの人などがもっともっと施設で楽しく過ごすことができるようになっていく。

通路の幅を広げる

→。そうすることで、車いすの人がもっと施設で楽に過ごすことができる。



⑩翻訳機能について

看板にほかの言語も書く

→英語、中国語などの言語をどの施設よりも少し大きめに書くことで、外国人観光客などが困らないようになり、人件費が削減される。

地図に翻訳機能を付ける。

→そうすることで、様々な国から来た外国人観光客が困らないようになり、上と同じように人件費が削減される。

